

■ 危機管理、コンプライアンス・・・企業が知っておくべき安全対策の核心に迫る！ ■

## 2018年度 社会安全学部・大阪連続セミナー(全10回)

### 「企業・組織の安全・安心対策」を開催

【日 時】 4月13日(金)～6月22日(金)、毎週金曜 18:15～19:45

【場 所】 関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール

関西大学社会安全学部では、2018年度大阪連続セミナー「企業・組織の安全・安心対策」を、4月13日(金)から6月22日(金)の期間、毎週金曜日(※5/4を除く)に梅田キャンパスにて開催します。

本件の  
ポイント

- ・防災・減災、危機管理など、「安全・安心」を学問領域とする社会安全学部が主催するセミナー
- ・企業や組織が知っておくべき、考えておくべき「安全・安心」対策の核心に迫る
- ・防災・減災分野の権威、河田恵昭特命教授も講師として登壇

防災・減災、危機管理・・・「安全・安心」を学問領域とする社会安全学部が2013年から開催している本セミナー。これまで「科学技術の最前線」「地域コミュニティ」「東日本大震災の復旧・復興」「福島原発事故」などをテーマに、安全・安心を創り出す上での「社会安全学」について講じてきました。

今回のセミナーのテーマは、「企業・組織の安全・安心対策」。社会安全学部の最先端の研究成果を基に、同学部教員が、企業・組織が知っておくべき、考えておくべき「安全・安心」対策の核心に迫ります。

社会安全学部は、「防災・減災」「東日本大震災の復興」「リスク管理」「事故防止」等、学部の研究・教育テーマに関連した書籍を継続的に刊行するなど、日本の防災・減災分野の教育・研究を牽引する機関として、積極的かつ継続的に安全・安心な社会づくりに向けた働きかけを行っています。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

記

【日 時】 4月13日(金)～6月22日(金)の毎週金曜日 18:15～19:45 ※5/4(金・祝)を除く

【場 所】 関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール (大阪市北区鶴野町1-5)

【概 要】 社会安全学部の最先端の研究成果を基に、企業・組織が知っておくべき、考えておくべき「安全・安心」対策の核心について解説する。

【講 師】 社会安全学部専任教員 計10名

(主な講師)・河田 恵昭

関西大学社会安全研究センター長  
関西大学特命教授  
専門：防災・減災



・安部 誠治

社会安全学部長、同教授  
専門：公益事業論



【各回テーマ】 次ページご参照

【定 員】 150名(受付終了) 【対 象】 どなたでも可

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

## ■プログラムの詳細（予定）

---

日程	テーマ	講師
第 1 回（4 月 13 日）	開講の挨拶/安全安心社会と社会安全学	安部 誠治
第 2 回（4 月 20 日）	企業・組織のリスクマネジメント総論	亀井 克之
第 3 回（4 月 27 日）	情報セキュリティの罫と対策	河野 和宏
第 4 回（5 月 11 日）	ISO22320(社会セキュリティ緊急事態管理)とその実践	永松 伸吾
第 5 回（5 月 18 日）	企業におけるヒューマンエラーとその対策	中村 隆宏
第 6 回（5 月 25 日）	危機対応における情報共有と広報	近藤 誠司
第 7 回（6 月 1 日）	グローバル企業のコンプライアンスと危機管理	高野 一彦
第 8 回（6 月 8 日）	企業のリスクファイナンス	桑名 謹三
第 9 回（6 月 15 日）	迫りくる国難災害リスク	河田 恵昭
第 10 回（6 月 22 日）	BCP のための地震時被害予測の考え方	一井 康二

## ■関西大学社会安全学部とは（2010 年 4 月開設）

---

「安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成します」

自然災害や社会災害は、普段は気がつかないような、私たちが生きる上での問題を浮き彫りにします。社会安全学部では、安全・安心というレンズを通して、私たちが生きる社会や人間、自然を洞察し、そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害の最小化を目指しています。

具体的には、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学など、多様な学問分野による教育を展開し、また、これら既存の学問を総合して、問題を解決する能力を養います。

以 上